

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

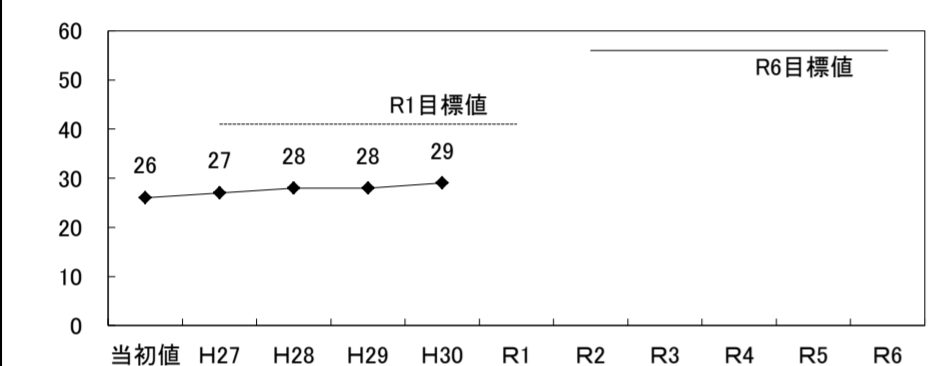
基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	立地創業支援室	
施策	23	工業の振興	評価 責任者	北田 雅浩	内線 3770
小施策	25-1	企業の誘致	評価 シート 作成者	高橋 博文	内線 3772

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市の工業振興ビジョンに基づき企業を積極的に誘致することによって雇用機会を拡大することが必要である。		産業の各分野において、民間活力が十分に発揮され、雇用の創出が図られるように、企業活動の活性化を支援するとともに、企業誘致を積極的に推進することにより、雇用機会の拡大と就業しやすい環境づくりを推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
企業		市内に事業所を立地してもらう。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標① 誘致企業数	単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成 果 の 要 因 分 析
当初値 (H25) 26	件	↗	・企業立地協定を1件締結し、企業誘致の実績となった。		・新規立地希望企業への空きオフィスの情報提供
R1目標値 41			問 題 点	⇒	問 題 の 要 因 分 析
R6目標値 56			・誘致により企業の新規立地に適当な産業等用地や空きオフィスがない。 ・地域人材の確保が難しい。 ・企業と誘致担当職員の顔の見える関係の構築。 ・盛岡に立地するメリットを明確化できていない。		・大学等の卒業生の地元定着率が低い。 ・誘致対象企業との接触が少ない。 ・企業が必要とする支援の把握が不足している。



今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 引き続き、補助事業等の周知を実施する。 ★ 首都圏等の企業に対し、訪問による情報収集や各種情報提供を行う。 ★ 県及び広域市町と連携し、企業立地セミナー等を開催し、盛岡のアピールを行う。 ★ 盛岡に立地するメリットとなり得る、実効性のある支援策について、産学官金の関係者と緊密に情報交換を行い、交付金の活用も検討しながら実施に向けて検討する。 ☆1 上記検討結果を踏まえた支援を実施する。 	